

# アジア太平洋研究科 博士學位論文要旨

## 日本における非正規移民 —「不法性」の生産・維持—

学籍番号 4017S001-3

氏名 加藤 丈太郎

主指導教員 ファーラー・グラシア教授

**Keywords :** 非正規移民, 不法性, 「不法性」を維持させるインフラ

### 【本研究の目的】

本研究では2つのリサーチクエストionsを挙げ、それらに回答することを研究目的とした。

1. 移民はなぜ「不法」になるのか。
2. 何が非正規移民の「不法性」を維持させるのか。

第3章、第4章でリサーチクエストionsに回答し、研究結果を記した（本論の構成を参照）。

### 【研究方法と研究対象者】

質的研究方法を用いた。インタビュー調査を中心とし、必要に応じて参与観察のデータを援用した。調査期間は2017年7月16日から2020年3月8日までである。

38名の非正規移民を対象に半構造化インタビューを行った。非正規移民を取り巻く状況をより把握するために、技能実習生10名、留学生6名、留学生出身の社会人3名にも半構造化インタビューを行った。雇用主等6名、支援者2名にも非構造化インタビューを行った。

元技能実習生の非正規移民5名に話を聞く過程で、彼・彼女らがなぜ「不法」になるのかを考えるにあたっては、技能実習生制度自体や制度を取り巻くアクターをより理解する必要があると判断した。そこで、技能実習生雇用企業1社、技能実習生監理団体2社、同監理団体のベトナム出身のベトナム語通訳1名に対しても、非構造化インタビューを行った。以上で、インタビュー対象者は69名となった。

### 【本論の構成】

#### 第1章 研究背景

非正規移民に関連する統計を整理し、統計を見る中から発生した疑問を事例と共に挙げた。次に日本政府・法務省出入国在留管理庁における外国人労働者政策を概観した。さらに「非正規移民」を定義した上で、移民はなぜ「不法」になるのか、何が非正規移民の「不法性」を維持させるのかの2つのリサーチクエストionsを提示した。調査方法、調査対象者、分析・記述方法を紹介し、研究倫理・調査法のレビューを行った。

#### 第2章 非正規移民をめぐる歴史と先行研究の整理

日本の先行研究のレビューから、日本における非正規移民をめぐる歴史も振り返った。第3章での分析のために、非正規移民における「不法性」を扱った文献をレビューし、「法による『不法性』の生産」(De Genova 2002, 2004)を起点として、「不法性」が概念としてどのように発展してきたのかを明らかにした。また、非正規移民が「不法」という自らの立場にどのように反応してきたのかを見た。第4章での分析に用いる「移住インフラ」(Xiang and Lindquist 2014)の5つの要素を説明した。

#### 第3章 移民はなぜ「不法」になるのか

1つ目のリサーチクエストion「移民はなぜ『不法』になるのか」に回答した。1節で移民が来日に至る理由を整理し、2節で38名の非正規移民を「不法」になった経緯ごとに類型化した。類型化する中で、「不法」になることを想定していなかった者を中心に、移民が「不法」になる要因を分析した。分析の結果、制度に起因する「不法」、

移住産業に起因する「不法」が見出された。

#### 第4章 何が非正規移民の「不法性」を維持させるのか

2つ目のリサーチクエストion「何が非正規移民の『不法性』を維持させるのか」に回答した。「移住インフラ」における要素を非正規移民の定住過程を分析するために援用した。商業的要素、技術的要素、人道的要素、社会的要素に、新たに「経済的要素」「家族的要素」を加えた。また非正規移民が「不法」のままでいるのは制度に欠陥があるからなので、規制的要素を「制度的欠陥」と言い換えた。属性の異なる3名の非正規移民を分析し、6つの要素と制度的「欠陥」の相互作用が非正規移民の「不法性」を維持させるという結論を得た。

#### 第5章 考察

本研究は日本における非正規移民を研究対象とし「国家による意図的な『不法性』の生産」概念を示した。この概念には過去からの歴史的通時性があった。また Mobility（移動）を分析する概念「移住インフラ」を、Immobility（不動）を分析する「『不法性』を維持させるインフラ」概念に転換した。非正規移民には主体性が存在し、日本社会でつながりを形成する場合もある。そして、非正規移民によってその意識を変化させられた者も存在した。

#### 第6章 結論

本研究の実証的貢献は、日本の非正規移民における「不法性」が生産・維持されているのを明らかにした点である。非正規移民における「不法性」は所与のものではなかった。また、「国家による意図的な『不法性』の生産」、「『不法性』を維持させるインフラ」概念を新たに提示する理論的貢献を果たした。今後の課題として、非正規移民の新たな発生源となっている技能実習制度における中間組織への調査、留学生からの非正規移民になる現象の年代別比較、欧米との比較研究を挙げた。

#### 補論 政策分析・政策提言

本研究によって浮かび上がった出入国在留管理政策上の課題を分析した。まず「不法滞在者5年半減計画」における法務省入国管理局の成果を再考した。次に2019年度から導入された特定技能人材は労働力として非正規移民を代替しないと論じた。政策提言として、難民条約の履行、アムネスティの次善策としての在留特別許可に係るガイドラインの改訂を挙げた。現行のガイドラインに要素を追加し、透明性を上げるために要素にポイントをつける案を提言した。

#### 【主要参考文献】

- De Genova, Nicolas. 2002. "Migrant "Illegality" and Deportability in Everyday Life." *Annual Review of Anthropology*. Vol.31. pp.419-447.
- De Genova, Nicholas. 2004. "The Legal Production of Mexican/Migrant "Illegality"." *Latino studies*. Vol.2. pp.160-185.
- Xiang, Biao. and Lindquist, Johan. 2014. "Migration Infrastructure." *International Migration Review*. Vol.48. No. s1. pp.122-148.